臨床研修における精神科研修受け入れ病院の取り組み

2025年度臨床研修交流会　熊本県民医連

菊陽病院紹介



病院長 橋本和子医師（専門研修プログラム統括責任者）
副院長 積豪英医師（法人理事長）
精神病床223床
（精神科救急60床、精神科急性期55床、精神一般108床）
熊本県依存症治療拠点機関（アルコール依存症、ギャンブル依存症）
常勤医16名：専門指導医4名、専門医6名、専攻医5名（指定医コース1名を含む）

※2025年6月現在

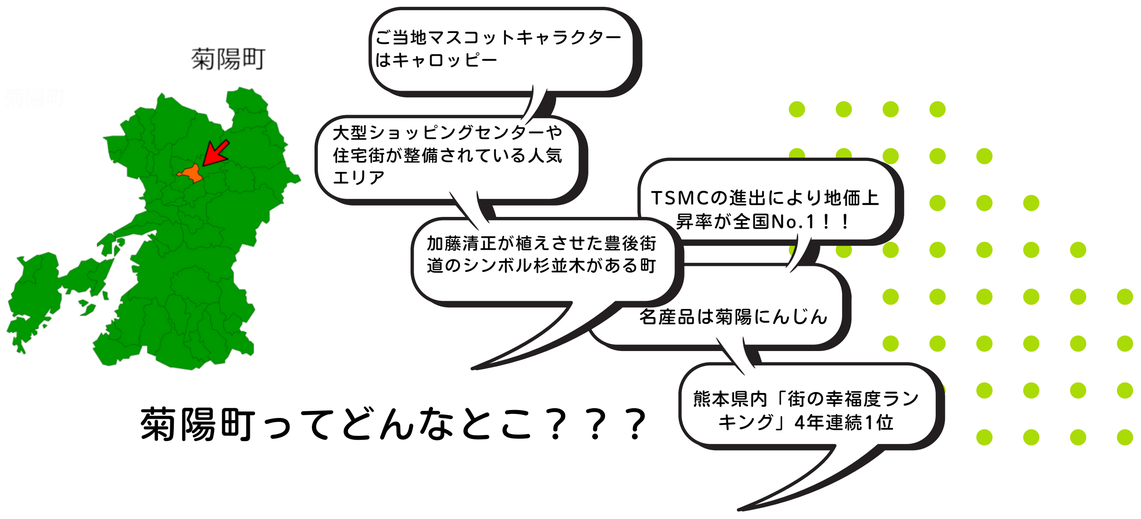
病院変遷

1976年　熊本保養院（熊本市）が菊陽町に移転し、菊陽病院となる。
2010年　全面リニューアルを行い、熊本県下で初めて精神科救急入院料の届出を行う。
2011年　精神科救急の領域で社会医療法人の認定を受ける。
2017年　熊本県内2施設（他は熊本大学）の一つとして専門医基幹型施設の認定を受ける。
2018年　橋本和子医師、院長就任。
2020年　積豪英法人理事長、副院長として着任。



菊陽町
kikuyo town

菊陽町ってどんなとこ？？？



獲得目標

- 精神科における基本的診察技術を修得する
- 主要精神疾患の病態と治療原則を理解する
- 精神保健福祉法の概要と運用について理解する
- 向精神薬の基本的な使用法と副作用を学ぶ
- 多職種連携の重要性を理解し、チーム医療を実践する

臨床研修医受け入れ実績

年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
受け入れ人数	5人	4人	7人	8人	7人

プログラム紹介

精神科PG4週コース

WEEK1：オリエンテーションと基礎知識の習得
- 基本クルズス（精神科面接技法、精神保健福祉法）
- 指導医の外来、病棟診察への陪席開始
- mECT（修正型電気けいれん療法）見学

WEEK2：臨床実践の開始
- 担当患者（3～4名）の受け持ち開始
- 各種クルズス（気分障害、認知症、アルコール依存症、統合失調症等）
- PSW・看護師の初診問診（インテーク）同席
- デイケア見学、参加

WEEK3：チーム医療の実践
- 初診患者の問診開始。問診後は指導医診察に同席
- 担当患者の診療継続（方針決定への参画）
- 多職種カンファレンスでの症例提示
- ARP（アルコール・リハビリテーション・プログラム）参加
- 家族面談同席
- 精神科デイケア参加者への内科疾患講義

WEEK4：総括と発展学習
- 症例発表準備・実施
- 症例レポート作成
- 研修のまとめと振り返り

精神科志望医師向け 追加4週コース（選択制）

《リハビリテーション・社会復帰コース》
- 復職支援デイケア継続参加
- 公認心理師・作業療法士との密な連携
- 家族教室への参加と家族支援の実践

《地域連携・リエゾンコース》
- 精神科診療所での外来研修
- 身体科病院での心療内科外来研修
- 訪問診療同行、地域連携会議参加

《急性期・専門治療コース》
- 精神科救急病棟中心研修
- mECTへの積極的なかかわり
- 措置鑑定同行等

指導医体制

① 複数指導医制
・指導医資格がある医師と指導医資格がない上級医（精神科専攻医）の2名で1名の初期研修医を担当
・指導医の負担軽減を図る
・年齢が近い上級医がメンターとしての役割を担う

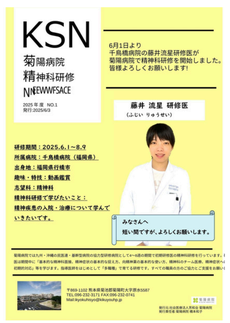
② 指導方法
・振り返り：指導医との個別面談（月2回程度）
・月次総合評価： EPOCによる形成的評価と次月目標設定、初期臨床研修委員会での指導医、多職種からの総合評価
・症例検討会： 研修医が主導する症例発表（月2回）

③ 教育プログラム
・体系的クルズス： 疾患別・治療法別の講義
・実践的指導： 病棟回診、外来診療での実地指導
・多職種連携教育： PSW、公認心理師、看護師による専門講義









事務の関わり

① 研修前の準備段階
・基幹病院との調整： 研修期間、目標設定、特別配慮事項の確認
・個別プログラム作成： 研修医の志望科・関心に応じた研修計画
・環境整備： 電子カルテID発行、院内設備案内、緊急連絡先整理

② 研修期間中のサポート
・多職種プログラム調整： PSW、公認心理師等との研修スケジュール調整
・院外研修調整： 関連施設での研修の手続き
・評価システム管理： EPOC入力サポート、評価表管理

③ 研修後のフォローアップ
・研修評価のフィードバック： 基幹病院への詳細な評価報告

④ 事務による研修支援の工夫
・定期的（週1回程度）面談。指導医との面談時に同席。要望などに迅速に対応。

⑤ ニュースの発行
研修医のニュースを発行し事業所内の回覧、および研修医が所属する基幹病院に送付。

院内への研修医の認知度UP！！
基幹型への菊陽での近況報告

⑥ 研修医からの意見収集
・定期的なアンケートによる研修改善
・研修終了時の総括面談での意見聴取

今後の展望

研修プログラムの充実
・地域連携の強化：身体科病院でのリエゾン、精神科クリニックとの連携拡大
・同一法人内で「くわみず病院」、「協立クリニック（水俣市）」に精神科（心療科）があり外来診療が行われているため一層の連携を追求したい。とくにくわみず病院では、身体科における精神疾患対応（リエゾン）を学ぶ機会を設けていきたい。

研修受け入れの拡充
現在の指導医体制では、最大年間12名は受け入れ可能。九沖民医連内唯一の精神科病院として、九沖民医連の研修基幹病院からの受入れを拡充させていきたい。

菊陽病院で研修してみませんか？
ぜひお待ちしています！！

社会医療法人芳和会菊陽病院
〒869-1102　熊本県菊池郡菊陽町大字原水5587
TEL　096-232-3171　担当：横林（よこばやし）